

平成25年第1回臨時会

建設水道常任委員会
会 議 録

期日：平成25年1月18日（金）

場所：大曲庁舎 第3委員会室

平成25年第1回大仙市議会臨時会会議録

日 時：平成25年1月18日（金曜日）午前10時13分～午前10時43分

会 場：大曲庁舎 第3委員会室

出席委員（7人）

委員長	29番	竹原弘治	副委員長	11番	佐藤清吉
委員	4番	佐藤隆盛	委員	17番	児玉裕一
委員	21番	高橋幸晴	委員	23番	橋本五郎
委員	28番	千葉健			

欠席委員（0人）

なし

説明のため出席した者

建設部長	田口隆志	上下水道部長	小松春一
次長兼道路河川課長	福田繁	水道課長	足達隆
道路河川課参事	今野徳吉	水道課参事	佐藤勉
道路河川課参事	五十嵐直樹	水道課参事	佐々木忍
都市管理課長	井関由紀夫	水道課参事	小西智
建築住宅課長	佐藤喜八郎	次長兼下水道課長	岩谷友一郎
土地区画整理事務所長	山本伸夫	神岡支所農林建設課長	今辰雄
土地区画整理事務所参事	三浦龍市	西仙北支所農林建設課長	齋藤雄幸
土地区画整理事務所参事	千葉信夫	中仙支所農林建設課長	鈴木清仙
土地区画整理事務所参事	吉野一利	協和支所農林建設課長	佐川勝
		南外支所農林建設課長	伊藤誠一
		仙北支所農林建設課長	佐々木博
		太田支所農林建設課長	佐藤朗

議会事務局職員出席者

主 幹 堀江孝明

審査議案等

議案第 1 号 平成 2 4 年度大仙市一般会計補正予算（第 8 号）

議案第 2 号 平成 2 4 年度大仙市上水道事業会計補正予算（第 2 号）

午前10時13分 開 会

○委員長（竹原弘治） おはようございます、本日は本会議休憩中のところご出席をいただきまして、ありがとうございます。私事でございますけれども、ケガ治療のため、12月の委員会等欠席いたしましたことに、ご迷惑をおかけいたしました。今年はこのとおり、昨年末からの大変な雪でございまして、市民生活も脅かされている状況でございます、昼夜問わず除雪作業行っていただいている訳でございますが、我々所管する委員会としても大変、心配をしているところでございます。なんとか落ち着いてくれればなと祈っております。

では、只今より建設水道常任委員会を開会いたします。

当委員会に付託されました事件について、別紙日程表のとおり審査致しますので、よろしくお願い致します。

なお、正確な会議録の作成のため、発言をする際は、委員長の許可を得たあと、マイクのスイッチを入れてから、お願いいたします。

審査に入る前に、当局からご挨拶がありましたら、お願いいたします。

はじめに田口建設部長。

○建設部長（田口隆志） あらためまして、おはようございます。今年もどうかよろしくお願いいたします。建設水道常任委員の皆様にはお疲れのところ、常任委員会を開催いただき、御礼申し上げます。

また、竹原委員長におかれましては、元気なご様子で大変喜んでおります。まだあまりご無理なさらないようにお願いいたしたいと思っております。

はじめに、市長のあいさつにもありましたけれども、平成24年第4回定例市議会におきまして提出させていただき、否決となりました議案第202号神岡中央公園等の指定管理者の指定についてにつきましては、その後、議員の皆様のご意見を参考に検討させていただきましたが、当該公園は当面、直営で管理することとし、併せて今後の公園管理のあり方について整理したいと考えております。つきましては、平成24年第4回定例市議会においてご承認いただきました議案第204号平成24年度大仙市一般会計補正予算（第6号）第2表、債務負担行為補正中の神岡中央公園、中川原コミュニティ公園、笹倉公園の指定管理料の廃止を本日の補正予算でお願いするものでございます。

さて、なかなか回復の兆しが見えない降雪の状況をご報告させていただきます、昨日17日時点でのデータでございますけれども、積雪深では協和地域の139cm

を筆頭に中仙地域の112cmとなっております。累加降雪量では協和地域の529cmを筆頭に仙北地域の392cmとなっております。18豪雪時のデータを比較しますと、現時点ではほとんどの地域が18豪雪を上回っており、今後の天候の回復を期待しておりますけれども、除雪対策費につきまして、1月の15日時点で、すでに当初予算の8割を執行している現状でございます。したがって、今後、迅速な対策を行えるよう除雪対策費の補正をお願いしたところでございます。

次に、本日議員全員協議会でお話いたしました、大仙市経済雇用、生活緊急対策本部第5次行動計画のなかで、切れ目のない企業支援として、市単独事業の前倒し発注についてでございますけれども、平成25年度当初予算に計上し、各地域で実施する計画としておりました道路維持工事を対象としております。できるだけ各地域の業者に受注機会を設けるため、地域のバランスを考えながら、小規模工事をターゲットとしております。今年度内での発注が可能となるよう債務負担行為をお願いするものでございます。

以上、本日ご審議お願いいたしますのは、先ほど当常任委員会に付託となりました補正予算案1件でございます。詳しい内容につきましては担当課長からご説明申し上げますので、よろしくご審議のうえ、ご承認賜りますようお願い申し上げます。あいさつとさせていただきます。

○委員長（竹原弘治） ありがとうございます。次に小松上下水道部長。

○上下水道部長（小松春一） 遅ればせながら、あけましておめでとうでございます。本年もひとつよろしくようお願い申し上げます。水道事業からのお願いでございますが、今回は先程本会議でもご説明いたしました、大仙市経済・雇用・生活緊急対策第5次行動計画で策定いたしました対策の内、大曲上水道事業対応分といたしまして、切れ目のない企業支援に資するため、平成25年度に発注を予定している工事の内から抽出いたしまして、前倒し発注するための補正予算案でございます。

詳細につきましては、上水道課長がご説明申し上げますので、よろしくご審議の上ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（竹原弘治） ありがとうございます。

ではさっそく審査に入ります。

議案第1号、平成24年度大仙市一般会計補正予算（第8号）を議題といたします。

なお、所管関係課の内容を一括説明いただき、まとめて質疑、討論、採決を行いたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

では、当局の説明を求めます。はじめに福田道路河川課長。

○次長兼道路河川課長（福田 繁） 議案第1号平成24年度大仙市一般会計補正予算（第8号）の内、道路河川課所管分につきまして、ご説明を申し上げます。

初めに補正予算書の4ページと、事業説明書の2ページをお開き願いたいと思います。道路維持管理費の債務負担行為補正をお願いするものであります。今回の追加補正は、道路維持管理費につきまして、期間を平成25年度、限度額2,800万円で、大仙市経済・雇用・生活緊急対策第5次行動計画に基づき、切れ目のない企業支援対策として、市道を適正に維持管理していくために、平成25年度に予定している市単独の道路維持工事の内、側溝や舗装の修繕工事等を前倒しで発注するため、債務負担行為補正をお願いするものであります。

お手元にお配りしております「道路-1」の資料をお開き願いたいと思います。1ページ、2ページにつきましては、各地域の事業箇所の一覧表を記載してございます。大曲地域6箇所、神岡4箇所、西仙3箇所、中仙4箇所、協和3箇所、南外3箇所、仙北1箇所、太田3箇所、計の27路線を見込んでございます。次に3ページお開き願いたいと思います。大曲地域の全体の位置図を記載してございます。4ページはそれぞれの、4ページから5ページ、6ページ、7ページ、8ページ、9ページまではそれぞれの路線の写真の方、添付させていただいております。次に10ページですが、神岡地域の位置図でございます。同様に11ページから14ページまでは各路線の図面を配置させていただいております。次15ページが西仙北地域の位置図でございます。3箇所ですが、記載してございます、個別の路線につきましては、16ページ、17ページ、18ページとなっております。19ページが中仙地域の位置図でございます。4路線見込んでございます、同じように20ページ、21、22、23が中仙地域でございます。24ページが協和地域の位置図でございまして、3路線でございます、同様に25、26、27ページに記載をしてございます。28ページが南外地域でございます。3路線でございます。29ページ、30ページ、31ページとなっております。32ページが仙北地域でございます。1路線でございますが、33ページに箇所図を載せてございます。34ページが太田地域でございます。3路線でございます、個別の路線といたしまして35、36、37ページにそれぞれ工事の内容も含めました記載をさせていただいております。以上、道路維持管理費の債務負担行為の説明を終わらせていただきます。

次に除雪対策費の補正であります。同じく補正予算書の8ページをお開き願いたいと思います。事業説明書は1ページになります。

今回の補正予算につきましては、豪雪により、今冬の降雪量、積雪深とも、昨年度を上回る状況で推移しており、1月15日現在の除雪出動回数は各地域平均で28回、除雪対策費の執行率は約80%となっております。今後の降雪や、排雪作業の回数も増えることが予測される為に、委託料や使用料が不足することが見込まれることから、また、きめ細かな除排雪体制の充実を図り、市民生活の安全・安心な除雪体制構築のため、除雪対策費の増額補正をお願いするものであります。その内訳であります、8款2項2目12事業、除雪対策費は、4億円の増額補正をお願いし、補正後の額を12億848万円とするものであります。その主な内容であります、13節、委託料、3億8,600万円につきましては、早朝除雪の委託費及び排雪の委託費など、除雪作業業務委託料に要する経費であります。14節、使用料及び賃借料、1,400万円につきましては、排雪作業時等に使用する重機等の借上げ料に要する経費であります。同じく「道路-1」資料の方を、もう一度お聞き願いたいと思います。38ページからなっております、38ページには当初予算並びに9月補正の全体の金額を載せてございます。補正前の予算額は8億800万でございます、その内6億4,500万を執行済みでございます。約80%でございます。残額といたしまして、1億6,200万、残っております。今回お願いするのは、委託料3億8,600万、使用料1,400万、合わせまして4億円の補正をお願いするものでございます。予算額の補正後ですが、12億800万を見込んでございます。下段の方でございますけれども、今後4億円の補正を伴いますと、早朝一斉の除雪回数といたしましては、約残額も含めまして、19回分を確保する予定となっております。右の表の表ですが、計画地と今冬の実績ということで羅列してございますが、早朝の5.5時間につきましては、一斉に出動いたしますと、約1,800万円、予算で計上しておったんですが、今冬の豪雪ということもございまして、実績といたしましては2,290万円ほど、一斉の除雪費用がかかっておるといことの単価でございます。参考までに記載してございます。次に39ページをお聞き願いたいと思います。1月15日現在の予算の執行状況でございます。大仙市全体といたしまして、委託料につきましては、予算額5億8,200万に対しまして、執行額が5億1,700万でございます。88.7%の執行率となっております。使用料につきましては、予算額3,100万円に対しまして、執行額は960万円ほど、執行率は約30.4%となっております。各地域につきましては、記載のとおりとなっております。次に40ページをお聞き願いたいと思います。これも1月15日現在の降雪量、積雪深、除雪出動回数等を記

載してございます。大曲でいきますと、1月15日現在におきまして、一斉の出動回数は21回、一部出動したのが3回、合わせまして24回、いう除雪の日数でございました。神岡、西仙、その他、太田地域につきましては、記載のとおりとなっております。最大の降雪量及び最大積雪深もこのとおりでございます。次に41ページから最後の44ページにつきましては、今まで平成17年度、22年度、23年度、過去3ヶ年の豪雪の当時の累加降雪量をグラフにしたものでございます。若干色が鮮明となっておりますけれども、赤が本年度の1月15日現在までのグラフというふうになってございますので、参考までに添付させていただきました。

以上、議案第1号平成24年度大仙市一般会計補正予算（第8号）の内、道路河川課所管分につきまして、ご説明を申し上げますが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○建設部長（田口隆志） 委員長、ちょっと補足させていただきたいことありますけれども。

○委員長（竹原弘治） はい、建設部長。

○建設部長（田口隆志） 先程、課長が説明した債務負担分でございますけれども、今、国で大型補正ということで、盛んにあのやっております、その内容がまだはっきりしてきておりません、ただ場合によっては今回債務負担ということで、雇用の方で、行動計画で上げた工事がもしかすれば対象になるという場合もあり得ますので、その工事の内容につきまして、若干動きがあるということを一言、皆さんにお伝えしておきたいということでしたので、どうかよろしくお願いします。

○委員長（竹原弘治） では、次に井関都市管理課長。

○都市管理課長（井関由紀夫） 議案第1号、道路河川課に引き続きまして、都市管理課所管分につきまして、説明申し上げます。

補正予算書の4ページ、補正予算書の4ページ第2表、債務負担行為補正をご覧下さい、第2表中下段の表でございます。平成24年第4回定例市議会において、神岡中央公園、中川原コミュニティ公園及び笹倉公園の指定管理料として3,162万5千円を限度額とする債務負担行為の設定をご承認いただきましたが、当該公園を直営で管理いたすことにいたしましたので、当該債務負担行為の取り消しをお願いするものでございます。

以上、都市管理課所管分の一般会計の補正につきまして、ご説明申し上げますが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（竹原弘治君） はい、では当局の説明が終了しました、これより質疑を行

います。

質疑のある方は、お願いいたします。なにかございませんか。はい、千葉委員。

○委員（千葉 健） ちょっとお願いしておきたいんですけども、このいろんな補修工事、今、雪道になっておるんですけども、当然、陥没箇所もあります、そういうことでまず前倒しで修理されるということは非常に大いに結構なんですけれども、ただあの、非常に雪道における陥没箇所の賠償事故、先程もちょっと資料で見ましたけれども、けっこう中仙も多いんですけども、賠償事故が非常に多くて、そして過去にも落雪による賠償事故あって、多々あったと思うんですけども、そういうものを検証しながら、過去の賠償事故を検証しながら、想定される所をキッチリとパトロールして、そしてやっていただきたいということを申し上げて質問になるんですけども、そのことについて当局の方から何かあるとすればお願いします。

○委員長（竹原弘治） はい、道路河川課長。

○次長兼道路河川課長（福田 繁） 千葉議員おっしゃるとおり、今回中仙で3箇所、大曲で1箇所ということで、皆様方に提示させていただいたところです、毎度、道路の陥没によって車両の被害というのが発生していますけれども、今のこの前倒しの件も含めましてですが、やはりあの十分なパトロールが欠かせない訳でございますので、雪に隠れている部分も今の時期多々あるとは思いますが、パトロールを重点的にやって、何とか事故のない道路維持を努めたいというふうに考えてございますので、どうかご理解していただきたいと思えます。

○委員長（竹原弘治） はい、ほかに。はい、橋本委員。

○委員（橋本五郎） 除雪のことで、我々大仙市の方ではまず、非常によくやっていると思うんですけども、秋田市あたりは非常にこの苦情が多くて、穂積市長でねども、それにはいちいち答えてられね、対応はできねというようなことなんでしょうけれども、我々大仙市の方では、一般の市民からどういう、どのような苦情が来ているのか、それに対してのどのような対応しておられるのか、もしあったらお聞かせください。

○委員長（竹原弘治） はい、課長。

○次長兼道路河川課長（福田 繁） 一番の8地域の中で、一番の需要があるのは大曲地域だと思っております、今の時期、盛んと苦情の電話沢山いただいているわけなんですけども、一番多いのは、道路幅員が狭くなったので排雪していただきたいというお願いが多々、沢山あるわけでございます。であの機械除雪によって、積み上げられた両側の壁なるものにつきまして、やはり順次、委託業者に指示をして早めの対応

をお願いしております、それでもなおかつ電話を頂くことはあるんですが、それはあの直ぐ職員が対応して、現場なり現地に出向きまして、その方にお話しをして、ちょっと時間遅れますが、間もなく来ますというような対応を、親切丁寧にやっておると、こういう状況でございます。

○委員長（竹原弘治） 他にございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（竹原弘治） ないようでございますので、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（竹原弘治） 討論なしと認めます。これより採決いたします。

本件は、原案のとおり可決することに、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（竹原弘治） 異議なしと認め、本件は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○委員長（竹原弘治） 次に議案第2号、平成24年度大仙市上水道事業会計補正予算（第2号）を議題にいたします。

当局の説明を求めます。足達上水道課長。

○上水道課長（足達 隆） 議案第2号、平成24年度大仙市上水道事業会計補正予算（第2号）につきましてご説明申し上げます。

補正予算書の10ページと事業説明書の3ページを併せてご覧いただきたいというふうに思います。

今回の補正につきましては、「大仙市経済・雇用・生活緊急対策第5次行動計画」に基づき、切れ目のない企業への経営支援を目的に、平成25年度に予定している事業の内、水道局において発注可能な市単独事業について前倒し発注することにより、年間工事量の平準化を図り、深刻化する3月末の資金繰りを容易にし、企業倒産の防止と雇用の継続を図るため、債務負担行為の設定をお願いするものでございます。

第2条に、債務負担行為をすることができる事項といたしまして、配水施設拡張改良工事事業、配水管移設・改良工事でございます、期間は平成25年度、限度額は3,614万円でございます。事業の財源につきましては、自己財源であります

「損益勘定留保資金等」を充当するものでございます。事業説明書の3ページをお願いいたします。事業の概要でございますが、配水管移設工事といたしまして、大曲金谷町地内の大曲橋架け替え事業に伴う配水管移設工事は、直径300ミリで延長が179.87mと直径100ミリ、延長が76.53mで工事費が2,086万1千円、配水管改良工事といたしまして東川地内の給水管連絡工事17箇所です。工事費が740万4千円、大曲花園町地内が直径50ミリで延長が179.3m、工事費は787万5千円でありまして3件の工事費の合計は、3,614万円でございます。

お手元に配布してございます、上水-1、第1回臨時会の建設水道常任委員会資料をお願いいたします。表紙をめくっていただきまして、1ページは、上水道配水管移設・改良工事位置図でありまして、青丸で囲った1と表示してございますのが配水管移設工事でございます、2及び3と表示しているところが、配水管改良工事施工箇所でございます。2ページをお願いいたします。青線を表示しているところが大曲金谷町地内の配水管移設施工箇所でございます。次に3ページと4ページをお願いいたします。赤で表示しているところが東川地内の給水管連絡工事の施工箇所でございます。次に5ページをお願いいたします。同じく赤線を表示しているところが大曲花園町地内の施工箇所でございます。

以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議のうえ、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（竹原弘治） はい、当局の説明が終了いたしました。

これより質疑を行います。質疑のある方は、お願いいたします。なにかございませんか。はい、橋本委員。

○委員（橋本五郎） これあの、25年度の事業前倒しというのと、だいたい前倒しの時期は、だいたい何時頃工事発注。

○委員長（竹原弘治） はい、部長。

○上下水道部長（小松春一） 債務負担行為についてお願いしているわけでありまして、基本的には24年度内の発注、3月末までの発注を予定しております。したがって4月早々の一番の天候に恵まれたときに施工するというように考えております。そういうこととなりますけれども。

○委員（橋本五郎） なしてかっぺいば、この豪雪の中で、事業育成はそれはいいんだけれども、雪で大変、工事する方も大変なことだべがなとういふうなこと。

○委員長（竹原弘治） はい、部長。

○上下水道部長（小松春一） 3月中に発注する予定でございますけれども、実はその3月末に発注すれば、業者さんも準備期間ありますので、雪消えと同時あたりに実際の工事ができるのかな、そういう状況だと思っています。

○委員長（竹原弘治） はい、ほかにございませんか。はい、千葉委員。

○委員（千葉 健） ちょっと教えていただきたいですけれども、あのこの損益勘定留保資金という、この資金利用するということなんだけれども、他に有利な財源が無いということで、利用するということだが、ちょっと私、これ初めてなので、分からないんで教えていただきたいと思います。

○委員長（竹原弘治） はい、課長。

○上水道課長（足達 隆） いわゆるその私どもが経理している中で、利益が発生しているわけです、それについてそれを有効に活用しましょうという考え方をしております。そういうことでよろしいでしょうか。

○委員長（竹原弘治） はい、部長からも。

○上下水道部長（小松春一） あの、事業説明書の3ページ、もう1回見ていただきたいですが、一番下段に財源内訳でございますけれども、ただいま申しあげましたその3,614万円のうち、内部留保資金を3,042万2千円、それからこの1番目の大曲橋架け替え事業に伴う配水管移設工事、これあの県事業にあわせてやってくる事業ですけれども、金谷橋関連で保証金が実は入っております、その一部を570万円程度を財源の一部として充てたいということで考えております。

○委員長（竹原弘治） はい、よろしいですか。ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（竹原弘治） ないようでございますので、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（竹原弘治） 討論なしと認めます。これより採決いたします。

本件を原案のとおり可決することに、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（竹原弘治） 異議なしと認め、本件は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○委員長（竹原弘治） 以上で、当委員会に審査付託となりました事件の審査は、すべて終了いたしました。

なお、本委員会の審査報告書及び委員長報告の案文につきましては、委員長にご一任願いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認め、そのように決しました。

では、これで、建設水道常任委員会を閉会いたします。大変ご苦勞さんでした。

午前10時43分 閉 会

大仙市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

大仙市議会 建設水道常任委員会委員長 竹 原 弘 治